

教授会議事録(案)

日時：平成25年9月10日(火) 14時7分から16時55分

場所：電気通信研究所大会議室

議事録の確認

平成25年7月9日(火)開催の定例教授会議事録について、承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 臨時教育研究評議会

7月23日開催の臨時教育研究評議会について、報告があった。里見ビジョン、部局ビジョンについて報告があった。

(2) 部局長連絡会議

議長から、7月16日開催の部局長連絡会議について、配付資料に基づき以下のとおり報告があった。

- ①国立大学協会総会
- ②国立大学法人学長・大学共同利用機関法人機構長等会議
- ③東北大学グローバルビジョン(部局ビジョン)
- ④平成24年度内部監査報告書
- ⑤平成25年度利益相反定期自己申告の実施
- ⑥平成25年9月学位記授与式
- ⑦平成25年度オープンキャンパス
- ⑧平成26年度大学入試センター試験について
- ⑨学際科学フロンティア研究推進WGにおける中間報告
- ⑩メディカルサイエンス実用化推進委員会への研究者登録状況
- ⑪女子学生入学100周年記念シンポジウム
- ⑫APRU年次学長会議
- ⑬東北大学復興アクション
- ⑭ミッションの再定義

(3) 附属図書館商議会

9月4日開催の附属図書館商議会について、資料に基づき説明があった。今年度と比較して、来年度は1億円程度負担が増加することから、今後電子ジャーナル等の購入に関しては、大学として戦略を考える必要があるのではないかとの報告があった。

(4) 学術資源研究公開センター運営専門委員会

学術資源研究公開センター運営専門委員会について、予算関係の承認、東日本大震災により被害を受けた片平資料館の改築状況(雨漏りがある)、植物園の経営状況、熊に注意等の説明があった。

(5) 学術情報整備検討委員会・学術情報資料選定小委員会

8月6日開催の学術情報整備検討委員会・学術情報資料選定小委員会について、資料に基づき報告があった。

上記附属図書館商議会で報告があったとおり、金額的な負担増加に伴い、雑誌の選定、部局負担の方法等について今後検討していく予定であるとの説明があった。

(6) 国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会

7月26日に開催された国際高等研究教育機構運営審議会運営専門委員会について、下記のとおり説明があった。

- ① 教員公募について、現在選考委員会が開催されていること。
- ② 研究教育院生の選抜検討部会報告があり、各基盤の申請者数にばらつきがあるので、今後どのようにして申請数を増やしていくか検討していること。
- ③ 学際科学フロンティア研究推進WGにおける中間報告があり、今後の活動内容に関する検討内容について報告があったこと。

電気系の属する情報工学・社会領域基盤から、応募する学生が少ないことについての理由について質問があり、中沢教授から、電気情報系は国際高等研究教育機構の研究・教育を積極的にサポートしていくような土壌がなかったからではないかとの説明があった。

(7) 学生生活協議会

9月9日に開催された学生生活協議会について、資料に基づき説明があった。

(8) 学務審議会

9月2日に開催された学務審議会について、資料に基づき説明があった。教務系情報システム・学務情報システムについて、今月から運用が始まっているので、利用者講習会を実施するとの報告があった。

2. 運営会議等報告

(1) 将来計画委員会

月2回のペースで委員会を実施しているとの報告があり、詳細は次回の本会議で報告する予定であるとの説明があった。

(2) 研究企画委員会

7月31日に開催された研究企画委員会について、下記のとおり報告があった。

議長から、科研費の申請について、組織の運営にも関連することなので、今後も協力願いたいとの説明があった。

(3) 安全衛生委員会

7月23日に開催された安全衛生委員会について、下記のとおり説明があった。

- ① 学生のメンタルケアの講習会を実施し、28名の参加者があったとの報告があった。まだ参加していない教員については、来年度参加してもらいたい旨の依頼があった。
- ② 新棟の警報システムについて議論し、2号館が改築されるタイミングで整備するのが良いのではないかと意見が出された。
- ③ 東北学院大学への売却予定地等の学生の動線について、意見交換があった。

また、8月に実施したメール審議について、8月7日に開催された各研究室の管理者向け安全衛生講習会について、参加者は17名であったとの報告があり、欠席した研究室については、今後何らかの方法で講習を受けてもらう予定であるとの報告があった。

消防訓練を10月4日14時から開催する予定であるとの説明があった。今回は片平南キャンパスで実施するとの説明があり、併せて協力依頼があった。

(4) 建物環境委員会

建物環境委員会について説明があった。新棟建設後の1号館・2号館使用方法について、今後委員会で検討後、本会議で審議する予定であるとの報告があった。

(5) 総務委員会

7月30・31日に開催されたオープンキャンパスについて、2日間合計で4,600名を超える参加者があったとの報告があった。また、10月12・13日に開催予定の片平まつり・通研公開について、協力依頼があった。

(6) 新棟建設検討委員会

新棟建設検討委員会について、地下の施策工事が進んでいるとの報告があり、騒音等について説明があった。また、西門から大型車両が出入りすることになるので注意願いたいとの説明があった。また、新棟の中に入る必要な設備等（ネットワーク関連機器、入退管理システム）について説明があった。

新棟建設後の1号館・2号館の使用方法について、今後建物環境委員会と合同で検討する予定であるとの報告があった。

(7) ナノスピンの実験施設

ナノスピン実験施設と研究基盤技術センターとの合同の運営委員会が開催されたとの報告があり、装置維持費が来年度よりカットされるので、その対応の一環として、クリーンルームを停止する予定であるとの報告があった。

(8) 学部教務委員会

8月21日に開催された学部教務委員会について、資料に基づき説明があった。また、9月3日に開催された同委員会について、資料に基づき説明があった。

学生のコース分けの方法について質問があり、成績ではなく、学生の興味等を判断して決定しているとの回答があった。

(9) 大学院入試委員会

8月5日に開催された大学院入試委員会について、資料に基づき説明があった。

下記のとおり意見があった。

- ① 現在の入試科目について、受験者を落とすのではなく、基礎的な学力の有無を確認するための試験であるとの基礎理念があり、問題の難易度を変更するのであれば、その基礎理念も変更すべきである。
- ② 問題の質について、基礎科目の問題は基礎論の中で作成してもらいたい。より応用的な問題は専門科目で作成してもらいたい。
- ③ 受験問題数について、受験生の負担等も鑑みて、工学研究科と情報科学研究科を同じ数にすべきではないか。

問題数を同じにするのであれば、他大学との兼ね合いもあるので、工学研究科、情報科学研究科ともに2問程度が望ましいとの意見があった。

問題数を増やすのであれば、科目を増やすべきであるとの意見があった。

見直し案の科目選択については、学生にとって敷居が高いのではないかととの意見があった。

受験科目の難易度を上げても、学生の質は寧ろ下がるのではないかととの意見があり、それならば卒業試験などの難易度を上げる方が効果的ではないかととの意見があった。

学生の勉強方法等を鑑みて、必修科目の群を2つに分けることは賛成であるとの意見があった。

(10) 電気・情報系進路指導委員会

電気・情報系進路指導委員会について、就職先がほぼ確定したとの報告があった。大学院入試が不合格であった学生で、進路指導委員と面談していない学生が数名いるので、面談してもらうよう連絡願いたいとの報告があった。10月より新たに委員を決定することとなるとの報告があった。

(11) 国際化推進室会議

資料に基づき説明があった。

3. 拠点評価結果について

拠点評価結果について、資料に基づき説明があった。通研は非常に高い評価であったとの説明があった。

4. 部局ビジョンについて

部局ビジョンについて、資料に基づき説明があった。シートBについて、一部修正の上、最終版を提示することとした。

5. 部局評価について

部局評価について、資料に基づき説明があった。一部修正が可能かどうか、本部事務機構に確認することとし、可能であれば修正することとした。

6. 外部評価について

外部評価について、資料に基づき説明があった。今後のスケジュールについて説明があった。

7. COI STREAM について

COI STREAM について、申請書が提出されたとの報告があった。東北大学は、東芝がメインの申請のサブメンバーとして名前が挙がっているとの説明があり、その内容について説明があった。

8. 電気通信研究機構について

電気通信研究機構について、以下のとおり報告があった。

(1) 7月23日に、研究成果を発表するシンポジウムを開催し、約150名参加した。また、7月24日に運営諮問委員会を開催し、委員の方はほぼ参加した。

(2) 8月9日に第1回東北大学とNICTの研究の連絡会議が開催された。また、8月27日にIEEEとの研究集会を実施した。

9. その他

(1) リーディング大学院について

情報系のリーディング大学院の内容について説明があった。また、材料系のリーディング大学院の内容について説明があった。両方ともヒアリングには進んでいるとの報告があった。

(2) 職員の受賞について

議長から、職員の受賞について、資料に基づき報告があった。

(3) 民間等との共同研究の受入について

議長から、民間等との共同研究の受入について、資料に基づき報告があった。

(4) 受託研究の受入について

議長から、受託研究の受入について、資料に基づき報告があった。

(5) 受託研究員の受入について

議長から、民間等との共同研究の受入について、資料に基づき報告があった。

(6) 研究所等研究生の受入期間変更及び退学について

議長から、研究所等研究生の受入期間変更及び退学について、資料に基づき説明があった。

II. 協議事項

1. 教員の転出について

議長から、教員の転出について伺いがあり、審議の結果承認した。

2. 教職員の兼務について

(1) 平成25年度後期学生実験助教

議長から、平成25年度後期学生実験助教の兼務について、資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

(2) 電気通信研究機構

議長から、平成25年10月1日からの電気通信研究機構の兼務について、資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

(3) 国際集積エレクトロニクス研究開発センター

議長から、平成25年9月1日からの国際集積エレクトロニクス研究開発センターの兼務について、資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

3. 平成26年度外国人研究者招へい候補者の推薦について

平成26年度外国人研究者招へい候補者の推薦について、希望者は10月末までに総務係へ推薦するよう依頼があった。また、客員の称号を付与する必要がある場合は、1ヶ月以上の滞在が必要になるとの連絡があった。

4. 非常勤研究員の任用について

議長から、非常勤研究員の任用について、資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

5. 平成25年度客員研究室・分野教員について

平成25年度客員研究室・分野教員について資料に基づき説明があり、審議の結果承認した。

III. その他

(1) 片平まつりについて

片平まつりについて説明があり、併せて参加依頼があった。

新棟の建設をしているので、来訪者の安全を考えてもらいたいとの要望があり、事務長から、片平まつり当日の工事状況について確認するとの回答があった。

駐車場の有無について質問があり、今年度は朝の職員の出勤等を除き、基本的に車両進入は一切認めないとの回答があった。

(2) 東京フォーラム2013について

11月21日に開催される東京フォーラム2013について、資料に基づき報告があり、併せて参加依頼があった。

(3) RIEC Awardの推薦について

RIEC Awardの推薦について、本賞、学内研究者賞、学生賞についてそれぞれ推薦があったとの報告があり、併せて謝辞があった。

(4) 研究交流会の報告

8月20日に開催された研究交流会について、92名の参加者があったとの報告があり、併せて謝辞があった。また、ポスター発表で使用したポスターについて、1号館の展示室に掲示することについて検討しているとの説明があった。

(5) 電気系同窓会について

9月14日に開催される東北大学電気系同窓会総会への参加依頼があった。

(6) 転出教員からの挨拶

転出の挨拶があった。

(7) 次回の開催について

平成25年10月8日(火)14:00から開催することとした。

以 上